

マルチメディアプレゼンテーション 制作支援技術

永沼和智* 土田泰治*
横里純一* 脇本浩司**
鈴木靖宏*

要旨

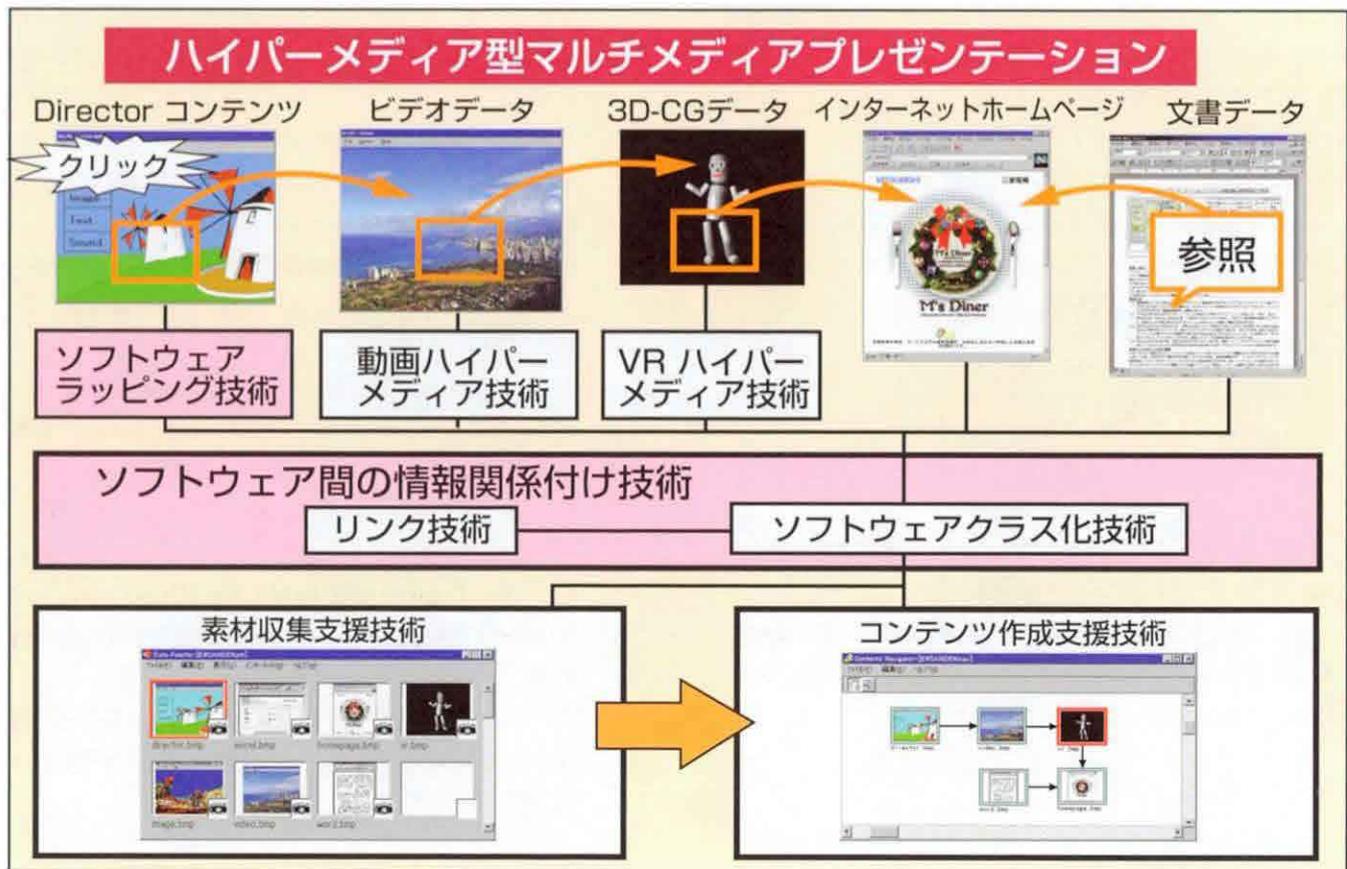
近年、パソコン、インターネット等の爆発的な普及と発展により、ビジネスマン、教師、学生など様々な人々が、様々な目的でマルチメディア情報を利用できる環境が整いつつある。しかし、それらのマルチメディア情報を利用して利用者の用途に合った独自のプレゼンテーション用コンテンツを制作しようとしても、入手した新たな素材やコンテンツを利用者が所有するコンテンツに組み入れることが不可能であったり、プレゼンテーション制作の専門家でない制作ができないなどの課題がある。

これに対し、ソフトウェアごとの通信機能の違いや通信方式の違いを機能変換及び通信方式変換によるクラス化技術又は直接接続することのできなかったソフトウェアを外側から監視し、制御を行うラッピング技術により、異なるソフトウェアの情報間の関係付けを実現した。この異なる

ソフトウェアに関係付けた情報を自由にたどっていく、ハイパーメディア型のプレゼンテーションの制作支援技術を開発した。これにより、多様なユーザ要求や新しいタイプのデータに対応することが可能となった。

また、プレゼンテーションのソフトウェアの情報間の関係をビジュアルに表示し、その関係付け、削除、編集をマウス操作のみで行うことと、インターネットから収集した情報をパソコンに蓄積されたローカルなデータと一括管理し、収集したアドレスや日付を基に日々変化するインターネット情報の更新状況の把握を行うことにより、プレゼンテーション制作をより容易なものとする。

今後、関連部門と協力して、この技術を応用して開発したマルチメディアプレゼンテーション制作支援システムの製品化を目指す。



ハイパーメディア型プレゼンテーション制作支援技術

ワープロやWWW(World Wide Web)ブラウザを始めとする様々なソフトウェアをクラス化又はラッピングすることにより、それらソフトウェアの情報間を関係付けることを可能にする。この異なるソフトウェアの情報間の関係付けにより、様々なデータを追加、組み込むことのできる、上記のようなハイパーメディア型プレゼンテーション制作支援技術を開発した。